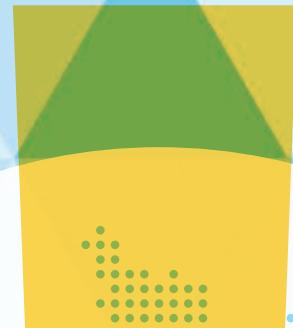




OFIX
公式キャラクター
ボラちゃん

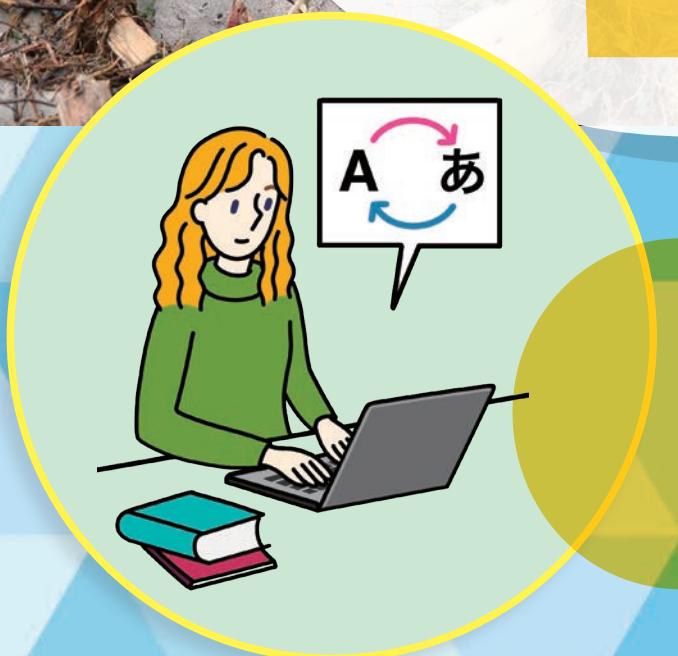


災害時通訳・翻訳ボランティア

OSAKA なるほど ガイド

ひなんばしょ
避難場所
EVACUATION SITE
REFUGIO DE EMERGENCIA
ABRIGO DE EMERGENCIA

ひなんしょ
避難所
EVACUATION FACILITY
REFUGIO DE EMERGENCIA
ABRIGO DE EMERGENCIA



2023年度 改訂版



公益財団法人
大阪府国際交流財団

近年わが国では、東日本大震災及び大阪北部地震をはじめ、大型台風や局所的なゲリラ豪雨など、深刻な自然災害やそれに伴う人的被害が増加しています。また関西では、近い将来南海トラフ巨大地震と言われる大地震が発生することが懸念されています。

こうしたことを踏まえ、日本国民の防災意識は高まり、各地で防災に関するセミナーや研修、訓練が開催されていますが、今後の有事に備え、さらなる防災意識の向上が必要です。



大阪府には府民の約3%にあたる約25万人（2020年12月末）の外国人の方が住んでおられます。外国人の方は言葉の問題や地震等の知識・経験不足から災害時要配慮者になる傾向にあり、その方々への防災対策及び意識啓発は、地域の国際化を担う国際交流協会の大きな役割です。

このような状況のもと、大阪府の国際化を担う（公財）大阪府国際交流財団（以下「OFIX」という。）では、中期的経営目標のひとつに「災害時通訳・翻訳ボランティア（以下「災害ボランティア」という。）の育成、拡充」を掲げており、災害ボランティア研修を実施しています。今後さらに、地域に根ざした自治体や地域国際化協会と連携して災害ボランティア育成を推進する研修等を実施していくとともに、市町村が行う災害時の外国人対応を支援してまいります。

本パンフレットは、災害ボランティアの（または災害ボランティアを目指している）方々に災害時の多言語支援を担うボランティア活動について学んでいただくためのガイドです。ぜひ一度読んでいただき、いざという時のために活用していただきたいと考えます。



01

災害ボランティアの活動について学ぶ

災害ボランティアとして活動するまでの流れ 1

災害ボランティアとしての活動 2

災害ボランティアとして心がけること 3

02

発災時の多言語支援について学ぶ

近畿ブロックにおける災害時の相互支援について 4・5

大阪府・OFIXによる多言語支援体制 6・7

災害ボランティアに関するよくある質問 8・9

災害(地震)について学ぶ 10・11

大阪災害アプリ・おおさか防災ネット 12

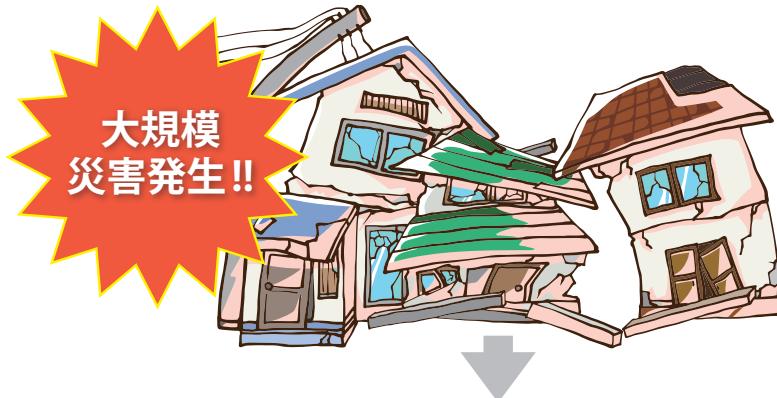
外国人のための防災ガイド 13

01

災害ボランティアの活動について学ぶ

災害ボランティアとして活動するまでの流れ

災害ボランティアの皆さんには、基本的に、大阪府・OFIX が大阪府災害時多言語支援センター（以下「センター」という。）を設置した後、OFIX 職員等のボランティアコーディネーター（以下「コーディネーター」という。）の指示により活動していました。

大阪府災害時多言語支援センター^{※1}

設置・運営：大阪府・OFIX

活動初期

職員対応期

活動中期～後期

ボランティア活動期

活動後期～センター閉鎖期

通常業務への転換期

活動初期は、センター設置業務や緊急の多言語支援業務の体制づくりの時期になります。基本的には職員等で対応します。ボランティアの方はまず自分の身の安全を確保してください。電気・通信等が復旧していれば、自宅での通訳・翻訳を依頼する可能性があります。

活動中期から後期にかけては、多言語支援業務等をより円滑に行うために、コーディネーターがボランティア調整業務を開始します。

センターまたは被災市町村等のニーズによって、必要な言語のボランティアの方に活動を依頼します。活動はあくまでもセンターから要請しますので、災害がおこつてもすぐにセンターに駆けつけていただく必要はありません。

活動後期からセンター閉鎖期にかけては、センターや被災市町村等のニーズも落ち着いてくるため、職員対応に転換していきます。一部のボランティアの方には継続的に活動を依頼する可能性がありますが、全体の活動は少なくなっています。

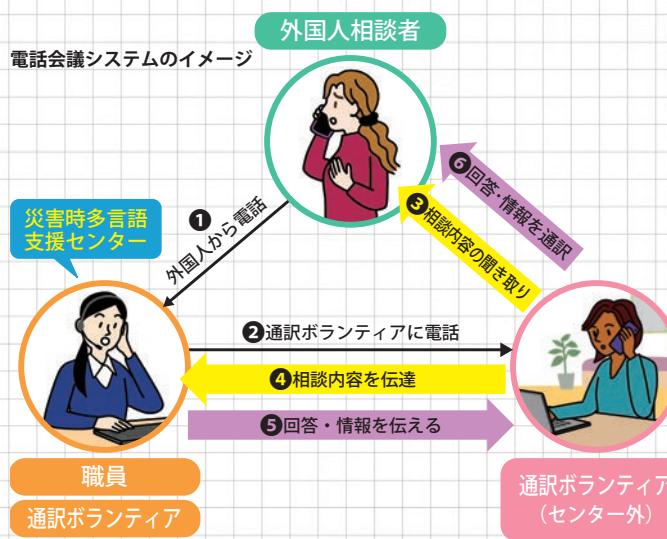
センターを閉鎖すると、災害ボランティアの活動も終了となります。ただし、ニーズがあれば引き続き活動を継続していただく場合があります。

※ 1 災害時多言語支援センター

大地震などの大規模災害が発生した際に、外国人被災者のために多言語での災害情報提供等を行う拠点。日本語が十分理解できないために行政機関等が発信する情報を受けることができない、または地震等の災害経験が少ないことから精神的な不安を抱えている外国人被災者に、安心を届けることを目的とする。具体的には、災害発生時に発信される災害情報を、多言語に翻訳して情報提供するほか、外国人被災者からの問合わせやさまざまな相談に多言語で対応するなどの機能を担う。

災害ボランティアとしての活動

想定されるセンター、自宅及び派遣先での活動を紹介します。

			センター	自宅	派遣先
1	翻訳	センターからの依頼により、自宅等で翻訳業務をしていただきます。 (場合によっては、センター内や派遣先でも活動)	△	○	△
2	遠隔通訳	基本的にはセンター外での対応となります。自宅等で待機していただき、センターからの依頼により、センター職員、外国人相談者と電話による「電話会議システム」で対応していただきます。 センター内での対応 基本的には職員等が対応します。 ※センターの担当職員の指示のもとでボランティアの皆さんとの協力をお願いする場合があります。 	△	○	△
3	災害時多言語支援センター運営補助	多言語支援活動を支えるために、一般電話対応、刻々と変わる被災状況の把握、問い合わせに係る情報収集、センターの活動記録整理等、センターを運営していくためのお手伝いをお願いします。	○	—	—
4	その他	被災市町村等からの依頼により、状況に応じてボランティア通訳・翻訳者として活動していただきます。 避難所での聞き取りの通訳、生活再建に関する自治体等での手続きに関する通訳・翻訳等が想定されます。 	—	—	○

○ 頻度の高い活動 △ 想定される活動 — 活動なし

災害ボランティアとして心がけること



災害時のボランティア活動で特に心がけることは、傾聴 / 自覚 / サポートです。
常に次の3点を心に留め活動しましょう。

傾聴

情報の押しつけにならないませんか？

苦労して収集したり翻訳したりした情報を、被災外国人の方々に届けたい気持ちはよくわかりますが、その情報が必ずしも、被災外国人の方にとって、必要な情報とはかぎりません。まずは相手の話をよく聴いて、本当のニーズを聞き取るように努めましょう。

自覚

あなたは 災害時多言語支援センターの ボランティアであり、一員です！

ボランティア活動を行う場合には、センターのコーディネーター（派遣の場合は、派遣先市町村などの担当職員）の指示に従いましょう。活動中に判断を迫られるような場面においては、コーディネーターの指示に従ってください。

また、通訳派遣先においては、通訳対象者の相談に乗ったりアドバイスをしたりしがちですが、常にセンターの一員であることを忘れずに、与えられた役割に沿った活動を心がけましょう。

サポート

あなたの力が 色々な場面で必要です！

「私は〇〇語の通訳（もしくは翻訳）しかしたくない」など、特定業務だけにこだわったり活動内容を自分で限定してしまう方は、センターでのボランティア活動にうまくマッチングできないことも予測されます。

希望はできるだけ考慮しますが、多岐にわたる活動を行うセンターの一員として自分の希望や好みにこだわらず広い範囲での活動にご協力を願います。

02

発災時の多言語支援について学ぶ

近畿ブロックにおける災害時の相互支援について

東日本大震災時の課題を踏まえた大規模災害への備えとして、地域国際化協会^{*2}が組織する地域国際化協会連絡協議会（全国）では、全国を6ブロックに分けて広域支援体制を構築しています。

近畿ブロックでは近畿地域国際化協会連絡協議会を組織し、2007年に「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定」を締結しました。なお、2020年に奈良県、2022年に堺市が準構成員として加わりました。

※ 2 地域国際化協会

地域の国際化を推進するために設立された国際交流協会等を、中核的民間国際交流組織として総務省が認定したもの

近畿地域国際化協会連絡協議会の構成員

(公財) 滋賀県国際協会

(公財) 京都府国際センター

(公財) 大阪府国際交流財団

(公財) 兵庫県国際交流協会

(公財) 和歌山県国際交流協会

(公財) 京都市国際交流協会

(公財) 大阪国際交流センター

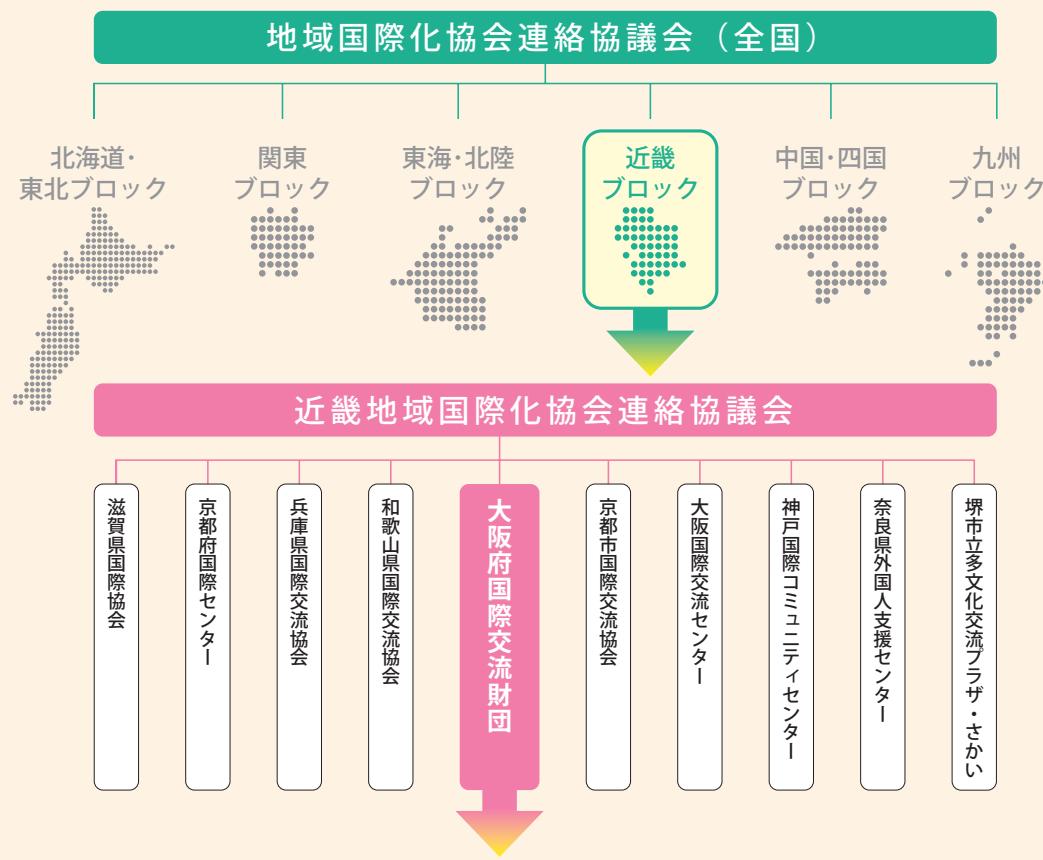
(公財) 神戸国際コミュニティセンター

準構成員 奈良県外国人支援センター

準構成員 堀市立多文化交流プラザ・さかい

(以下の体制は2023年8月現在)

地域国際化協会における近畿ブロックの位置づけ



災害時外国人支援のためのボランティア活動及び近畿地域国際化協会連絡協議会の「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定」に基づく活動に従事する。

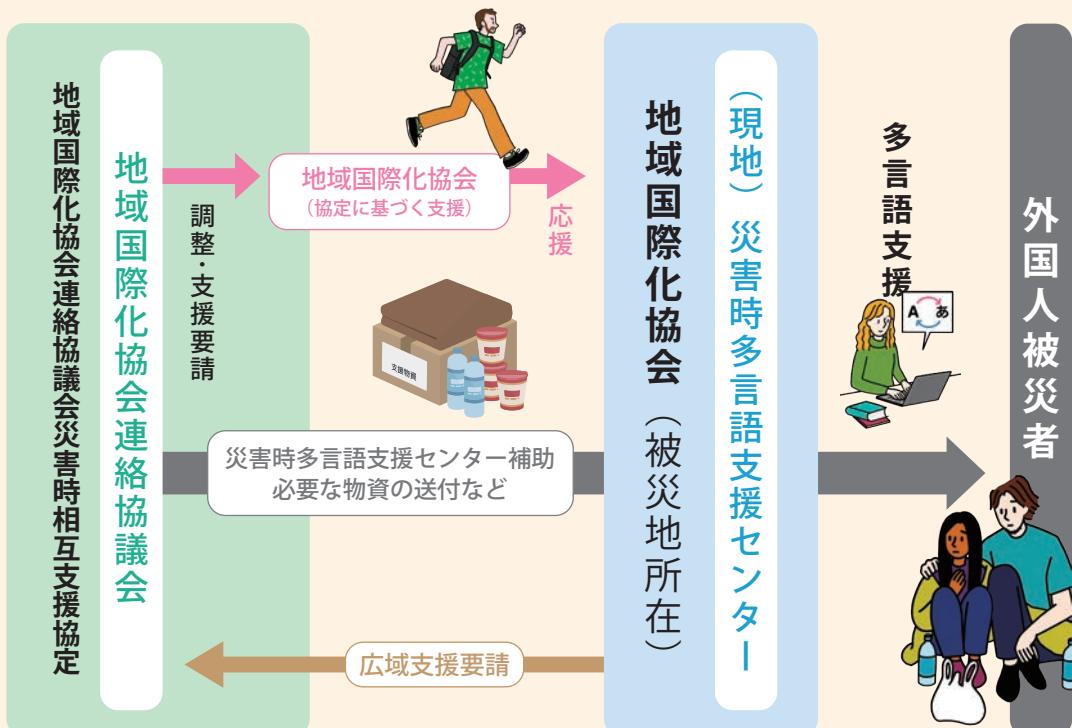
この協定は、地震等の大規模な災害の際に、ボランティア情報の共有や通訳者派遣など、地方自治体の区域を超えた広域の応援協力体制を確立するための基本合意です。



近畿地域国際化協会連絡協議会の構成員である OFIX では、この協定に基づき、**OFIX 災害時通訳・翻訳ボランティア登録制度**を設けています。本制度に登録された災害ボランティアの皆さんには、発災後、大阪府内に設置される支援拠点（災害時多言語支援センター等）や自宅において通訳・翻訳等の多言語支援活動を行っていただきます。そのほかにも、近畿地域国際化協会連絡協議会や関西広域連合からの支援要請を受けて、近畿圏で活動を行っていただく場合もあります。

さらに、全国 6 ブロック間の災害時相互支援協定^{*3}に基づく要請により、近畿を越えた全国レベルでの広域的活動も想定されます。

被災地の地域国際化協会が実施する外国人被災者の支援体制



*3 「地域国際化協会連絡協議会における災害時の広域支援に関する協定」

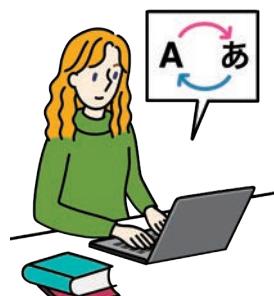
大阪府・OFIXによる多言語支援体制

大阪府と OFIX では、大規模災害時に府内在住外国人に対する多言語支援を円滑に行うため、**大阪府災害時多言語支援センター**を設置・運営することについて、協定を締結しています（2015 年 3 月）。

この協定に基づき、発災後、大阪府と OFIX が共同でセンターを設置・運営します。



『大阪府災害時多言語支援センターの役割』



01

大阪府等が提供する災害情報などを集約し、情報選別や翻訳作業を行い、外国人被災者へ多言語で情報提供

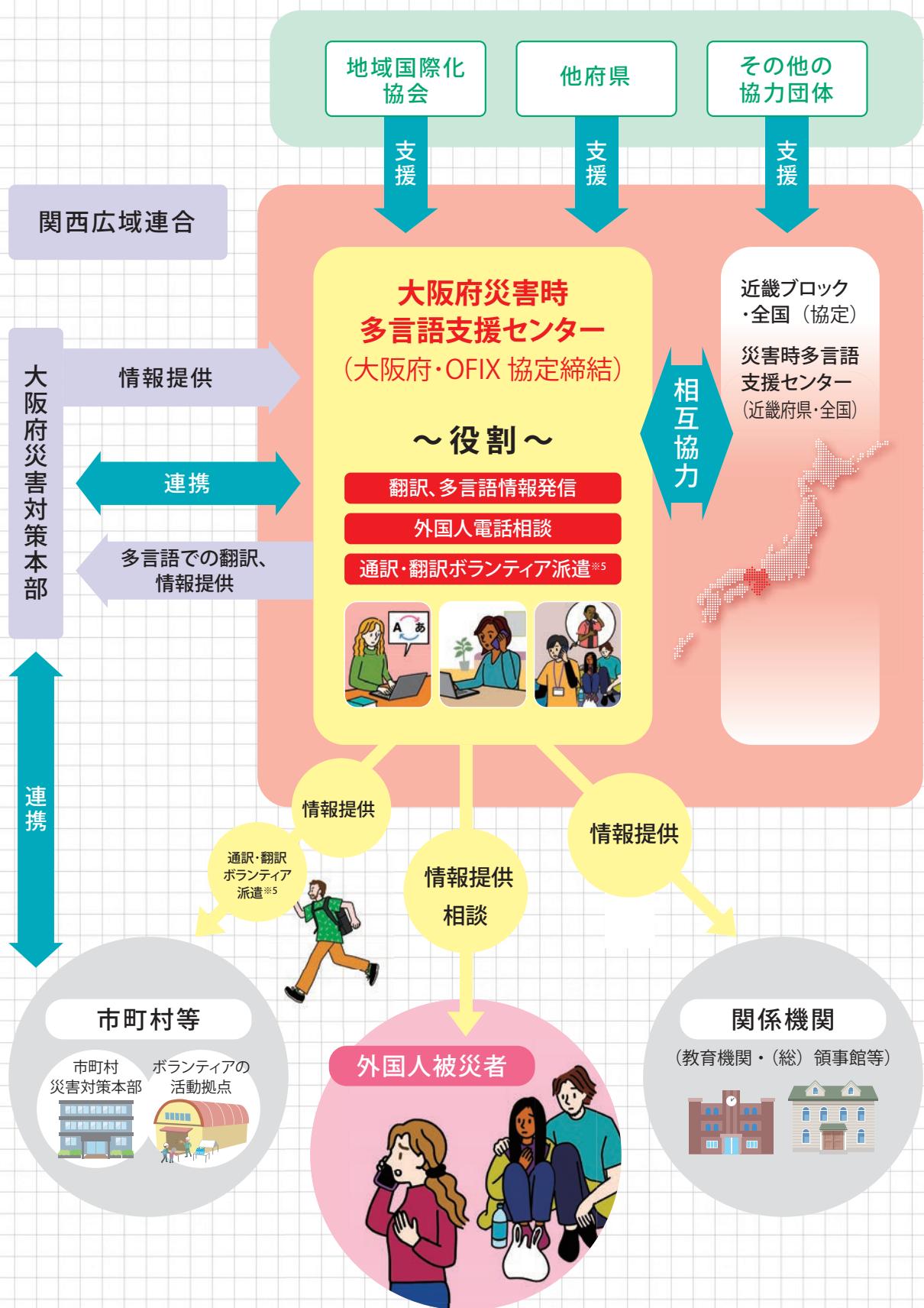
02

外国人被災者からの問い合わせやさまざまな相談に、多言語で対応

03

状況に応じて、被災市町村等からの要請により、通訳・翻訳ボランティアの派遣や翻訳を支援

大阪府災害時多言語支援センターのイメージ（大阪府内で発災した場合）





災害ボランティアに関するよくある質問

ここでは、災害ボランティアに関する問い合わせのなかから、特に頻度の高いものを選んで掲載していますので参考にしてください。

Q1

ボランティアに登録したいのですが、どうしたらよいですか？

A1

所定の登録申込書に必要事項を記入し、Eメールまたは郵送にてOFIXにご提出ください（FAXは不可）。登録申込書はOFIXのホームページからダウンロードできます。

<https://www.ofix.or.jp/volunteers/register/disaster-volunteer.html>

※郵送の場合は写真を、Eメールの場合は画像を添付のうえ、お送りください。



Q2

自分の語学力でもボランティア活動ができるのか心配なのですが…

A2

災害ボランティアの活動は多岐にわたるため、活動によっては高い通訳・翻訳レベルを求められるものもあります。一方、複数名のボランティアで一緒に活動するような場面や、センター内での作業も想定されますので、ご自身の取り組める活動についてご協力いただければと思います。また活動依頼時には対応いただける状況や内容であるか必ず事前に確認しますので、不安な点や不明な点は何でもご相談ください。

Q3

外国人ですが、ボランティアに登録できますか？

A3

はい、大丈夫です。ただし、日常のコミュニケーションが取れる程度の日本語能力が必須です。東日本大震災直後にも、外国人のボランティアチームが結成され、外国人世帯への情報提供や通訳などの活動を行った例があります。日本人と一緒に多言語支援の活動に参画していただける外国人のボランティアさん、大歓迎です。

Q4

活動場所はどんなところになりますか？

A4

大阪府で災害が発生した場合、府内に多言語支援センター等の支援拠点が設置されます。OFIXの災害ボランティアの皆さんには、コーディネーターからの依頼により、それらの支援拠点等において活動を行っていただきます。内容によっては、センターのほか、自宅での通訳・翻訳等の活動をお願いしたり、被災地に出向いていただくこともあります。また、大阪府以外で災害が発生した場合には、近畿圏または全国レベルでの広域的活動も想定されます。コーディネーターが活動依頼をする際に必ず事前に対応可能か確認しますので、できる範囲でのご協力をお願いします。

Q5

災害ボランティア向けの研修はありますか？

A5

OFIX では大阪府や近畿地域国際化協会連絡協議会と協力し、毎年災害ボランティア向けの研修を実施しています。研修では、災害時における外国人支援等の講義やワークショップのほか、模擬通訳・翻訳体験を取り入れています。その他、災害ボランティアにご登録いただいている方については、近畿地域国際化協会連絡協議会の構成団体が主催する災害ボランティア研修を受講していただくことも可能です。（1回につき最大5名まで。場合によって交通費補助あり。）積極的にご参加ください。



Q6



災害時翻訳について、
自宅でも学習する方法はありますか？

A6

災害時翻訳を学ぶには、関連用語や実際の災害時多言語情報を知っておくことが大切です。自宅での学習には、以下のサイトをご参照ください。

(一財) 自治体国際化協会 多言語災害情報文例集
<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/saigai.html>

国土交通省気象庁 多言語辞書データ
<https://www.data.jma.go.jp/developer/multilingual.html>

(公財) 大阪府国際交流財団 大阪府で起こった地震の関連情報
<https://www.ofix.or.jp/disaster-info/>

上記以外の質問につきましては
OFIX (TEL:06-6966-2400/E-mail:info@ofix.or.jp) にお問い合わせください。

NEXT PAGE

参考資料

1

..... 10・11

災害(地震)について学ぶ

2

..... 12

大阪防災アプリ

おおさか防災ネット

3

..... 13

外国人のための

防災ガイド



災害（地震）について学ぶ



地震とは

- 地下の岩盤が周囲から押されることによってある面を境としてずれる現象のことをいいます。この岩盤のずれが起きると地震波が周囲に伝わり、やがて地表に達すると地表が「揺れ」ます。私たちはこの「揺れ」で、地震が地下で発生したことを知ります。
- 地震には、2011年3月11日に発生した東日本大震災のようなプレートの境界域において発生する海溝型地震と、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災のような活断層において発生する直下型地震があります。

～大阪府で想定される地震～



大阪府では、海溝型地震、直下型地震の両方が発生する可能性があり、いずれの地震も近い将来に発生することが懸念されています。



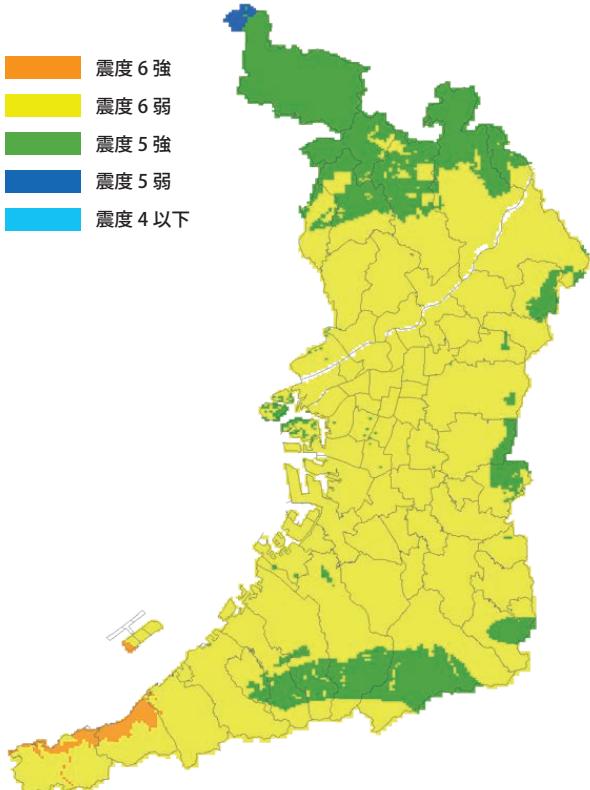
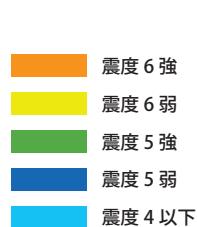
南海トラフ*を震源とする地震は、これまで概ね100～150年周期で繰り返し発生しており、30年以内の発生確率は70%～80%といわれています。南海トラフ沿いでは、発生頻度は低いもののマグニチュード9クラスの南海トラフ巨大地震が発生する可能性もあります。



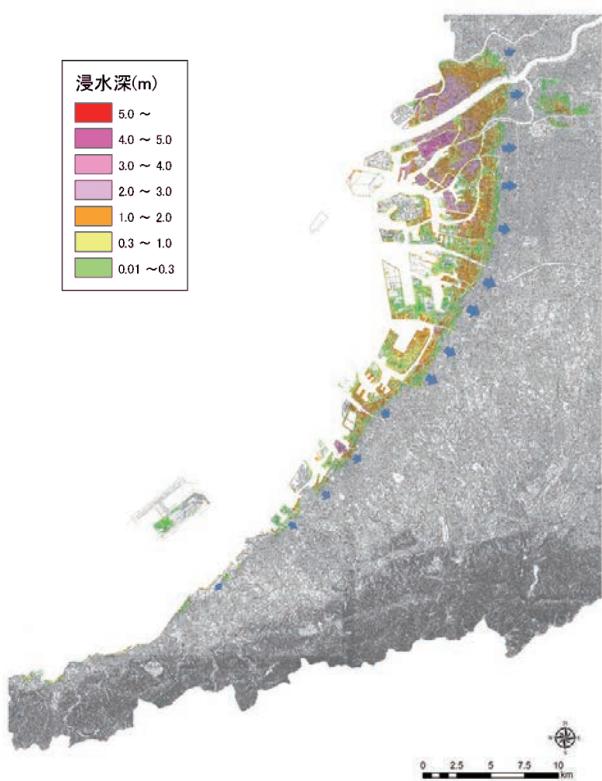
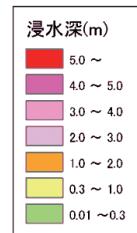
大阪府域での被害が大きいと考えられている活断層による地震は、上町断層帯、生駒断層帯、有馬高槻断層帯、中央構造線断層帯等を震源とするものです。

* 南海トラフ：ユーラシアプレート東端とフィリピン海プレート北端の境界部にある大規模な溝

南海トラフ巨大地震が発生した場合に
想定される大阪府の震度



南海トラフ巨大地震が発生した場合に
想定される大阪府の津波浸水域



地震発生時に大阪府で想定される被害

南海トラフで地震が発生した場合は、津波による浸水が想定されます。また大規模な地震が発生した場合には、南海トラフの地震以外でも、揺れに伴う建物の全半壊や液状化による被害、火災の発生、水道の断水、停電、ガスの供給停止、通信困難、鉄道や道路の損傷に伴う交通機能の停止など、様々な被害が想定されています。また、それらの被害により、多数の避難者や帰宅困難者の発生が想定されます。



	南海トラフ巨大地震	大阪府地震被害想定
府内での最大震度	震度 6 強	震度 7
津波浸水	11,000ha	—
建物全壊	約 12 万棟	約 36 万棟
火災焼失	約 6 万棟	約 4 万棟
死者数	13.4 万人	1.3 万人
負傷者数	9.1 万人	14.9 万人
帰宅困難者	146 万人	178 万人
避難者数（ピーク）	192 万人	81 万人
断水率（ピーク）	約 94%	約 62%
停電率（ピーク）	約 55%	約 45%
ガス供給停止率（ピーク）	約 17%	約 77%
固定電話使用不能者（ピーク）	約 142 万人	約 91 万人

注) 被害想定は、一定の条件下で行っているため、必ずこの数字になるとは限りません。

▶南海トラフ巨大地震

https://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/keikaku_higaisoutei/higai_soutei.html

▶大阪府地震被害想定

https://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/keikaku_higaisoutei/chokkagata_soutei.html

○ 東日本大震災と 阪神・淡路大震災の事例

2011年発生の東日本大震災は、日本周辺における観測史上最大の地震です。津波の発生や地震の揺れ等により、死者は19,747人、負傷者は6,242人、行方不明者は2,556人（2021年3月9日現在・消防庁「2011年東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）について（第161報）」）に達しています。激甚な災害となつた東北地方では、仙台市を中心に外国人の方も被災されています。

仙台市では、約1万人（2010年度）の外国人登録者の方へのサポートのため、発災後、関係機関やボランティア団体との協力のもと、①多言語による情報発信や外国人の安否確認のため「仙台市災害多言語支援センター」の設置、②外国籍市民の安否確認や大使館手配のバス・乗客管理等の

ため「受入在外公館対応」、③外国人ボランティアの受入支援のため「外国人ボランティア支援」、④メッセージ等の受領、掲示、御礼、支援物資の受入等の「国際姉妹都市等からの支援」等の対応が実施されました。

兵庫県には、阪神・淡路大震災の発災前年の1994年に約10万人（うち、神戸市約4万人）の外国人登録者の方がおられました。地震発生直後に兵庫県国際交流協会による外国人インフォメーションセンターや神戸国際協力交流センター（現 神戸国際コミュニティセンター）等に外国人の相談窓口が設置され、現在も外国人の方の相談に応じています。

写真提供) 仙台市市民局



仙台市災害多言語支援センター



外国人ボランティアへの支援



帰国者等のための
大使館手配のバス・乗客管理



防災・災害時情報

事前にダウンロードしてみよう！

参考資料
2

大阪防災アプリ



ダウンロードはこちら



大阪防災アプリ

検索

おおさか防災ネット

おおさか防災ネット

Osaka Disaster Prevention Net | Osaka Prefecture

言語を選択 小 中 大

免責事項 | 個人情報の取り扱いについて | サイトマップ | ヘルプ

防災お知らせ情報

気象注意報・警報・特別警報等

地震・津波情報

避難情報

避難所情報

気象
情報

市町村を選ぶと市町村ページを表示します



避難所検索へ

府内広域カメラ画像へ

河川のカメラ画像へ

高石大橋のカメラ画像へ

防災お知らせ情報

知 能登半島地震にかかる災害等支援対策本部会議を開催しました(2024年02月07日12時15分)

知 大阪防災アプリの提供を開始します(2024年01月31日14時00分)

知 能登半島地震における対応状況は府HPトップをご覧ください(2024年01月23日16時00分)

知 能登半島地震にかかる災害等支援対策本部会議を開催しました(2024年01月18日14時10分)

知 能登半島地震災害支援対策にかかる合同会議を開催しました(2024年01月10日10時00分)

知 お知らせ情報 緊急お知らせ

防災情報メール ぜひご登録を!

登録は、<tauroku@osaka-bousai.net>に空メールを送信してください。

QRコードからもメールアドレスを読み進めます。

気象の注意情報や警報、避難情報など、防災情報を受信できます。詳細は[コチラ](#)



大阪府河川防災情報

土砂災害の防災情報

外国人のための防災ガイド

在住外国人の方に直接利用いただく他、市町村等において在住外国人向けに防災ガイドを作成する際のモデル版として活用していただくよう作成したものです。

英語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/eng-jap.pdf
中国語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/chn-jap.pdf
韓国・朝鮮語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/kor-jap.pdf
ベトナム語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/vie-jap.pdf
スペイン語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/esp-jap.pdf
タイ語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/tha-jap.pdf
インドネシア語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/ind-jap.pdf
ネパール語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/nep-jap.pdf
フィリピン語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/phi-jap.pdf
ポルトガル語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/por-jap.pdf
やさしい日本語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/jpn-jap.pdf
ウクライナ語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/ukr-jap.pdf
ロシア語	https://www.ofix.or.jp/doc/disaster-info/rus-jap.pdf



OFIXへのアクセス

- Osaka Metro 中央線・堺筋線「堺筋本町」駅 1・12 番出口から約 800m
- Osaka Metro 谷町線「谷町四丁目」駅 4 番出口から約 800m

Google MAP : <https://goo.gl/maps/w7pe4FWP6xwWyJ9u9>

大阪府大阪市中央区本町橋 2-5 マイドームおおさか 5 階
公益財団法人 大阪府国際交流財団 (OFIX)

TEL : 06-6966-2400 E-mail : info@ofix.or.jp

発行年月 : 2023 年 12 月

編集・発行 : 公益財団法人 大阪府国際交流財団 (OFIX)

監修 : 大阪府府民文化部都市魅力創造局国際課 / 大阪府危機管理室